



## 2年ぶりのパレード華やかに

市内の川下りコースで3月21日、「おひな様水上パレード」が行われました。これは柳川雛祭り「さげもんめぐり」のメインイベント。おひな様やお内裏様、着飾った稚児ら約140人が11艘の舟に乗り、沖端から三柱神社までの約4キロをパレードしました。新型コロナウイルスの影響で2年ぶりの開催となった春の風物詩を一目見ようと、掘割沿いにはたくさんの方が訪れました。

CONTENTS	ページ
学校の適正規模・配置を答申	2
人事異動・新人職員紹介ほか	3
新型コロナ関連情報ほか	4-5
お知らせ掲示板	6-7
人権・同和教育シリーズ	8

●発行 柳川市 / 〒832-8601 福岡県柳川市本町 87-1  
●編集 総務部企画課広報広聴係（直通） ☎0944-77-8425 FAX74-5520  
●URL <https://www.city.yanagawa.lukuoka.jp/> ●e-mail [kouin@city.yanagawa.lj.jp](mailto:kouin@city.yanagawa.lj.jp)

「広報やながわ」は、年齢や障がいの有無などを問わず、できるだけ多くの人が読めるように、ユニバーサルデザインを導入しています。

# 人権作文

市内の小中学生が書いた人権作文を紹介します。



中島小学校5年  
黒田 兼統さん

## あたたかい輪を広げて

ぼくの父と母は、やさしいです。どんなに仕事が大変でも、時間を見つけて公園へ連れていってくれたり、一緒に遊んでくれたりします。10才くらいになると、父と母の事や家の事などいろいろわかってきました。

ぼくの父と母は、のり師をやっていて、今年の冬はいそがしさがまっています。ある日、母が、ぼくと妹と父にも家事をやってほしいと言ってきました。母はふだん父と一緒に冬は海に行っているのであまり会う時間がありません。母がそんなことを言うのは、初めてでした。ぼくは「ああ、うんやな。」と感心しました。父と母

はのりの仕事を一緒にやっているのに、父は家事をやらなくて、母がすべての家事をやるのはどうかと思っただけです。それから、家族で話し合っ

て、家事を分たしました。男は仕事が多いから家事をやらなくていい、父も母と同等に家事をやってほしいと思っています。もちろんぼくも家事をやり、今では父も家事の4分の1をやっています。毎日自分が使った皿は洗って、洗たくものも自分たちでたたくことができます。母も前より楽になった感じがします。

官にじゅうでうたれたというのです。ぼくはひどいなと思いました。何の罪も犯していない人を殺すなんて、黒人をどう思っていたのか、その警察官に聞きたい気持ちになりました。

ぼくは、野球やテニスが好きで、スポーツ番組は必ずとっていいほど見ています。たくさん黒人選手が活躍しています。多くの黒人選手が「ひくいことだと思えます。」とこころを話しました。ぼくも同じ気持ちになります。当たり前前の事だけど、黒人も白人もぼくたちも全員「人類」という仲間です。差別してはいけないというこころを、みんなに伝えたいと思います。

「みんなちがってみんないい」という言葉があります。男も女も、黒人も白人も良い所を認め合って一緒に助け合って、もっともつとあたたかい輪が広がっていくことを願います。そのために、ぼくも、自分にできることを見つけて行動していきます。

【先生からのひと言】  
お母さんの願いを受け止めて、家族で話し合う兼統さん。すばらしい、温かい家族だと思えます。おかしいぞ、ひどいなと思う心のアンテナは、世界のニュースまでも受け止めています。みんなが笑顔になれるような温かな輪を、一緒に大きく広げていきたいですね。